

上下水道事業評価(令和2年度)

担当課

下水道維持課

1 事業情報

実施方針	Ⅱ 安全・安心なくらしの実現	施策目標	2 地震に対する防災・減災を推進します	施策	① 管路施設における耐震化の推進
------	----------------	------	---------------------	----	------------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
施策目標	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。							
施策	新設する管きよは、各種耐震対策指針に基づき、可とう性継手を用いるなど耐震性の強化を図ります。一方、既に埋設されている重要な管きよ、(避難所からの汚水を受ける管きよ、緊急輸送道路下にある管きよ、河川や軌道を横断している管きよ)については、優先的に管更生などの耐震化を進めます。また、緊急輸送道路下にあるマンホールのうち、液状化によるマンホール浮上の恐れがあると判定されたマンホールについては、優先的に浮上防止対策を行います。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	総合地震対策計画(第2期)に基づき、令和2年度から6年度までの5年間で計画を実施します。 ・管きよの地震対策としては埼玉県流域幹線に直接流入している主要幹線管きよの診断を行い、汚水管きよ112mの耐震化工事を実施します。 ・マンホール浮上防止対策は主に産業道路、第2産業道路の143基のマンホール診断を行います。							
期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月							
予算額 決算額	予算額			決算額			執行率	
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	128,360	53,002	75,358	111,029	51,002	60,027	86%
	工事費	75,358		75,358	60,027		60,027	80%
	原材料費	0			0			
	委託料	53,002	53,002		51,002	51,002		96%
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
人件費	5,293			5,293			100%	

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	0千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	0%		
進捗状況	工事、委託ともに設計書を作成し、発注済です。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	・管きよの地震対策として、数値目標112mに対し110mの耐震化工事を実施しました。目標との差は、設計上の誤差によるもので、事業の進捗としては予定どおりです。 ・マンホール浮上防止対策として、予定していた143基に対し、翌年度実施予定の2基を追加で実施し、145基のマンホール診断を実施しました。
事業達成度	B 予定どおり成果を上げた
事業達成度 C~Eの理由	

5 指標

指標	R1	R2	R3	R4				
指標名	汚水管渠更生工事(地震対策)	単位	m	目標値	525	112	-	
算出式・根拠				実績値	523	110		
指標名	マンホール浮上防止工事	単位	基	目標値	14	-	-	
算出式・根拠				実績値	14	-		
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり成果を上げた	耐震化を要する重要管きよについて、水量が多く調査や工事が困難な箇所が見受けられます。今後は2条化(管を2本に増やすこと)を含め更生工事以外の整備検討を要しますが、現場の条件確保や予算の増大が課題となります。	現状維持で継続